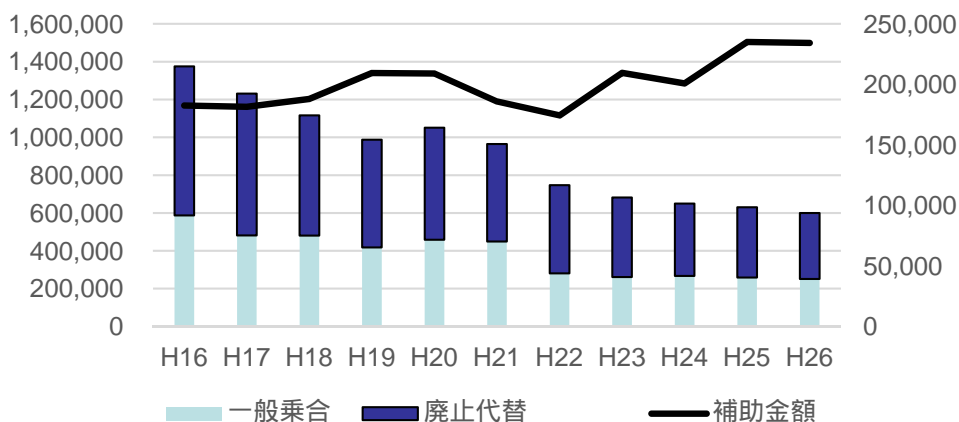


1 現状

バスの利用者は年々減少傾向。(H16 1,375,587人、H25 630,541人、H26 599,992人)

補助金は2億円を超えている。(H16 182,541千円、H25 235,031千円、H26 234,264千円)

利用者数と運行費補助金の推移



経常収益は、毎年3~6%程度減少。
経常費用に占める修繕費比率が高く、老朽車両の更新が必要

	H23	H24	H25
経常収益	142,354千円	133,045千円	128,089千円
経常費用	363,523千円	338,840千円	359,879千円
車両台数	41台	39台	40台
修繕費	46,750千円	39,006千円	52,043千円

2 地域公共交通活性化協議会の取組

【経常収益の確保】

観光二次交通事業の充実(フリー乗車券の販売促進)

北陸新幹線開業、小木直江津航路新造船就航で注目度の高まる小木港を起点とした路線バスの充実を図る。

・小木線

汽船接続便を世界遺産登録を目指す相川地区まで延伸

・宿根木線

ジオサイト江積及び太鼓体験交流館への延伸

加えてジオガイドの同乗によるバス旅の付加価値向上

公共交通利用促進イベントの実施

バスの日100円バスや市内小学校・保育園等での路線バス乗り方教室の実施

<バスの日H26実績> 利用者数4,105人(前年比162.5%)

【経常費用の抑制】

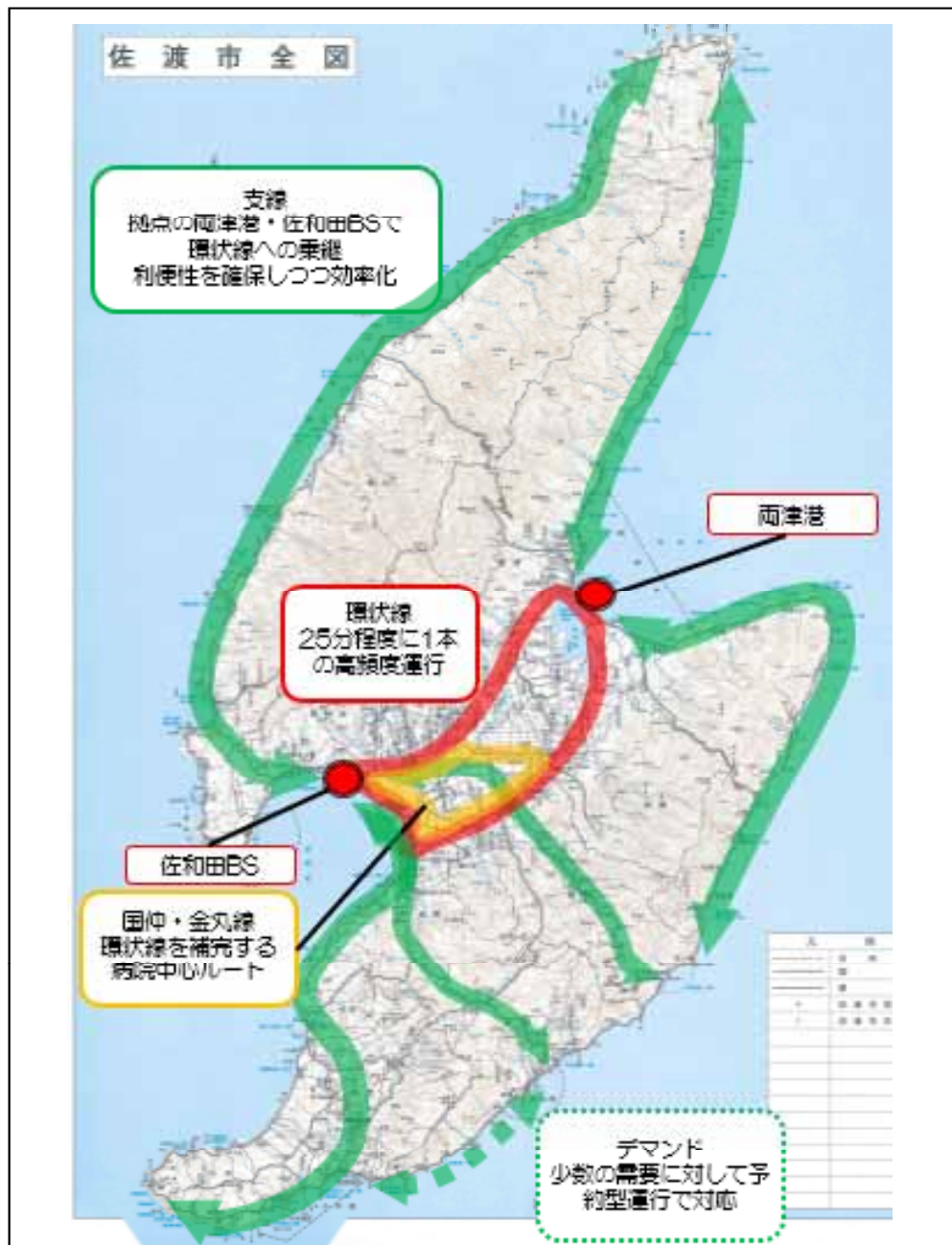
公共交通バリア解消促進事業

老朽車両の更新時に高齢者でも乗降しやすい低床バスの導入を行う。

国・県の補助制度はあるものの補助対象は新車のみ、価格的に優位な中古車での更新を促進するため、協議会において補助する。

	佐渡	全国	新潟県
導入率	16.6%	56.7%	30.6%

平成27年度 地域公共交通活性化協議会 事業計画(案)について



路線の見直しに関する調査

佐渡市の目指す公共交通体系(案)

佐渡総合病院に本線から乗入が可能になることを契機に、本線及び南線の運行を見直し、佐和田BS 両津港の間を高頻度に運行する環状線にスムーズに接続できる支線を運行し、路線の効率化と利便性の向上を図る。

地域公共交通再編実施調査事業

- ・ 国中地域での高頻度運行による市民の利用意向調査。
- ・ これまで佐渡総合病院まで直行していた路線の利用者に対して乗継利用になることへの影響調査。
- ・ 乗継時の運賃負担軽減のための乗継割引設定等の検討
- ・ 継続して実施する高齢者運賃割引サービスの利用状況調査

財源として地域公共交通確保維持改善事業(再編調査事業)を国土交通省へ要望

交通空白域及び福祉輸送ニーズへの対応

自家用有償運送運営協議会の設立・運営

- ・ 路線バスの運行が無い若しくは運行頻度の少ない地域の輸送ニーズに対してNPOや社会福祉法人が自家用車を利用して運送サービスを担う自家用有償旅客運送の制度を活用できるよう自家用有償旅客運送運営協議会を設立運営する。

資料

平成27年度 佐渡市地域公共交通活性化協議会会計 収支予算書 (案)

収入

(単位:円)

区 分	前年度予算額	本年度予算額	比 較	付 記
1. 負担金	10,488,000	12,788,000	2,300,000	佐渡市負担金
2. 補助金	7,700,495	0	7,700,495	
3. 繰越金	2,162,681	201,998	1,960,683	
4. 諸収入	1,000	1,000	0	預金利息
収入合計	20,352,176	12,990,998	7,361,178	

支出

(単位:円)

区 分	前年度予算額	本年度予算額	比 較	付 記	
1. 運営費	会議費	765,000	803,200	38,200	地域公共交通活性化協議会(協議会3回・幹事会3回) 委員報酬・費用弁償等 730,000円 自家用有償旅客運送運営協議会(3回) 委員報酬・費用弁償等 73,200円
	事務費	230,000	150,000	80,000	郵送料 50千円 消耗品 100千円
2. 事業費	18,419,600	11,833,840	6,585,760		
(事業費内訳)					
調査事業	7,419,600	5,000,000	2,419,600	地域公共交通再編実施調査事業 (1)直行便減便の影響調査 2,000,000円 (小木線・赤泊線・海府線・七浦海岸線) (2)高齢者運賃割引サービス効果検証調査 1,300,000円 (3)観光二次交通調査 1,700,000円 (小木線・宿根木線・金山周辺路線等)	
公共交通利用促進事業	800,000	347,200	452,800	「バスの日」100円バスの実施 運賃の差額補填・パンフレット作成等	
観光二次交通事業	2,000,000	486,640	1,513,360	利用促進・PR経費 パンフレット作成・ジオガイド謝礼等	
車両点検費	200,000	0	200,000		
車両購入費補助	4,000,000	4,000,000	0	ノンステップ車両購入によるバリアフリー化を支援 1台当たり 上限2,000千円×2台分 = 4,000千円	
車両ラッピング費補助	4,000,000	2,000,000	2,000,000	購入車両のラッピングによる利用促進 1台当たり 上限1,000千円×2台分 = 2,000千円	
3. 予備費	937,576	203,958	733,618		
支出合計	20,352,176	12,990,998	7,361,178		